平 成 ２ ３ 年 ３ 月青 森 県 統 計 分 析 課

「平成２２年 青森県の人口」について

１ 人口の動向について

平成 22 年 10 月 1 日現在の本県人口は、1,373,164 人で、前年に比べ 9,353 人（0.68％）の減少となった**※**。

平成 21 年 10 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までの自然動態は、出生者数が 9,754 人、死亡

者数が 15,973 人で、自然増減数は 6,219 人（0.45％）の減少となった。

また、平成 21 年 10 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までの社会動態は、転入者数が 21,977 人、

転出者数が 27,010 人で、社会増減数は 5,033 人（0.36％）の減少となった。

**青森県の人口推移**

（単位：人、％）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年次 | 人口 | 人口増減数 | 人口増減率 | 自然増減数 | 自然増減率 |  |  | 社会増減数 | 社会増減率 |  |  |
| 出生者数 | 死亡者数 | 転入者数 | 転出者数 |
| 平成１７年 | 1,436,657 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １８ | 1,423,412 | -13,245 | -0.92% | -4,099 | -0.29% | 10,603 | 14,702 | -9,146 | -0.64% | 23,912 | 33,058 |
| １９ | 1,408,589 | -14,823 | -1.04% | -4,650 | -0.33% | 10,203 | 14,853 | -10,173 | -0.71% | 23,011 | 33,184 |
| ２０ | 1,394,806 | -13,783 | -0.98% | -4,921 | -0.35% | 10,328 | 15,249 | -8,862 | -0.63% | 22,895 | 31,757 |
| ２１ | 1,382,517 | -12,289 | -0.88% | -5,867 | -0.42% | 9,633 | 15,500 | -6,422 | -0.46% | 23,483 | 29,905 |
| ２２ | 1,373,164 | -9,353 | -0.68% | -6,219 | -0.45% | 9,754 | 15,973 | -5,033 | -0.36% | 21,977 | 27,010 |

（注1）人口は10月1日現在。平成17年の人口は、国勢調査結果（確定値）。

（注2）平成22年の人口は平成22年国勢調査人口速報集計結果（総務省統計局 平成23年2月25日）であり、人口増減数は自然増減数と社会増減数を足した数値と一致しない。（脚注参照）

（人）

人口動態の推移

（増減の単位：人）

80,000 20,000

出生

死亡

人口増減社会増減

転入

転出

自然増減

60,000 15,000

40,000 10,000

20,000 5,000

0 0

-20,000 -5,000

-40,000 -10,000

-60,000 -15,000

-80,000

S51 S52 S53 S54 S55 S56 S57 S58 S59 S60 S61 S62 S63 H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22

-20,000

※ 平成 22 年 10 月 1 日現在の人口は、平成 22 年国勢調査人口速報集計結果（総務省統計局 平成 23 年 2 月 25 日）であり、推計人口

は、直近（平成 17 年）の国勢調査人口を基礎とし、これに市町村から毎月報告のあった出生者数、死亡者数、転入者数及び転出者数

（外国人を含む）を加減することにより算出している。

また、国勢調査は住民票を移さない居住者も調査対象となるが、推計人口は住民票の移動により社会増減数を算定しており、国勢調査年の人口増減数は、自然増減数と社会増減数を足した数値と一致しない。

２ 年齢別推計人口について

年少人口（ 0 歳から 14 歳）は、前年に比べ 4,831 人減の 173,997 人となり、構成比は

12.7％（平成 17 年国勢調査 13.8％）となった。

生産年齢人口（15 歳から 64 歳）は前年に比べ 8,202 人減の 843,833 人となり、構成比は

61.5％（平成 17 年国勢調査 63.4％）となった。

高齢者人口（65 歳以上）は前年に比べ 1,781 人増の 353,155 人となり、構成比は 25.8％

（平成 17 年国勢調査 22.7％）となった。

**年齢(３区分)別人口の推移**

（単位：人、％）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | 次 |  | 構 | 成 比 |
| 総 人 口 | 年少人口（0～14歳） | 生産年齢人口（15～64歳） | 高齢者人口（65歳以上） | 年少人口（0～14歳） | 生産年齢人口（15～64歳） | 高齢者人口（65歳以上） |
| 平成 | １７ 年 | 1,436,657 | 198,959 | 910,856 | 326,562 | 13.8 | 63.4 | 22.7 |
|  | １８ | 1,423,412 | 194,018 | 896,042 | 333,072 | 13.6 | 63.0 | 23.4 |
|  | １９ | 1,408,589 | 188,669 | 879,629 | 340,011 | 13.4 | 62.4 | 24.1 |
|  | ２０ | 1,394,806 | 184,226 | 864,347 | 345,953 | 13.2 | 62.0 | 24.8 |
|  | ２１ | 1,382,517 | 178,828 | 852,035 | 351,374 | 12.9 | 61.6 | 25.4 |
|  | ２２ | 1,371,265 | 173,997 | 843,833 | 353,155 | 12.7 | 61.5 | 25.8 |

（注1）総人口には、年齢不詳者数を含んでいる。

（注2）平成22年は平成17年国勢調査結果を基礎に推計しているため、平成22年国勢調査人口とは一致しない。

３ 年齢別県外転出入の状況について

各年齢別に県外からの転入者数をみると、18 歳から増加し、22 歳がピークとなり、24 歳以降は年齢が高くなるにつれて少なくなっている傾向にある。

一方、県外への転出者数は、18 歳が最も多く、次に 22 歳、20 歳と続き、22 歳を超えると年齢が高くなるにつれて少なくなっている傾向にある。

65

60

55

50

45

40

35

30

25

20

15

10

5

0

-2500

-3000

-3500

県外転入

県外転出

差引増減

1000

500

0

-500

-1000

-1500

-2000

年齢別県外転出入の状況

人

1500

青森県の人口ピラミッド（平成22年10月1日現在）

男性 女性

90～

85

71歳：日中戦争動員による 80

昭和13～14（1938～39）年の出生減

75

64,65歳：終戦前後

70 における出生減

65

60

55

50

61～63歳：昭和22～24

（1947～49）年の第1次 45

ﾍﾞﾋﾞｰﾌﾞｰﾑ

44歳：昭和41(1966)年のひのえうまによる出生減

40

35

30 36～39歳：昭和46～49

（1971～74）年の第2次ﾍﾞﾋﾞｰﾌﾞｰﾑ

25

20

15

10

5

14000

12000

10000

8000

（人）

6000

4000

2000

0（歳）

0

0 2000 4000 6000 8000 10000 12000 14000

（人）

（注１）90歳以上人口は、まとめて90歳以上とし、年齢不詳を除いた。

（注２）上記年齢別推計人口は、平成1７年国勢調査人口を基礎に推計している。